

特定非営利活動法人 OurPlanet-TV
2010年度 事業報告書

1、事業実施の報告

2010年は、「宮下公園～TOKYO/SHIBUYA」の連続上映を開催。地方の時代映像祭で優秀賞を受賞するなど、これまでの9年の中で、創作と発表に関わる活動が非常に充実した年となりました。また沖縄の基地問題が揺れた6月には「米軍基地は必要か～フィリピンの選択」を制作。このビデオは、全国各地の様々な平和集会で上映され、様々な声が寄せられています。

一方、映像教育支援関係では、「DIY ビデオのアトリエ」で制作された金子サトシさんの「食卓の肖像」が完成し、キネマ旬報で取り上げられるなど、静かな感動が広がっています。地道な取材に基づいた労作であり、より多くの人に鑑賞いただけるよう、上映会や宣伝の支援も行っています。

また、第3回目のトーチプロジェクトも開始。奈良の薬物依存症の施設でのワークショップは盛況で、このあと、どのような作品が完成するか、大変期待が高まっています。

メディア政策や言論／表現の自由に関わる取り組みとしては、記者会見開放の運動や映画「ザ・コープ」上映阻止へ対抗する取り組み、放送法改正に関する反対声明を発表など、他のメディアやジャーナリストと連携し、様々な運動を展開しました。放送法改正に関しては、十分な力を尽くせなかったものの、映画「ザ・コープ」および、記者会見開放に関しては、一定の成果を得ることができたとと言えます。

これらの取り組みのほか、10月には、レイバーネットTVやPARC(アジア太平洋資料センター)と協力のもと、反貧困TVを実施。メディアの民主化を進めるだけでなく、様々な社会運動に関わる団体や個人とのネットワークを広げることができた1年であったと思います。

このほか、9月にスタッフ1名が米国のパブリックアクセス状況の視察に参加。また、スタッフ全員で大阪を視察し、コミュニティに根ざした様々なメディアと交流し、学ぶことができたのも大きな成果となりました。

なお、課題としては挙げられるのは、メディアカフェの活性化です。夏の期間は、インターシップの大学生が多数いたため、メディアカフェも非常に活気がありましたが、そのほかの時期は、全体的に利用が低調で、機材の稼働も十分ではありませんでした。

ビデオ撮影機材やPCのハイビジョン化や記録方式の変化などで、問合せは増えており、これらのニーズをメディアカフェの事業と結びつけていけるよう、機材の更新や利用プログラムのリニューアルを行っていく所存です。



- (1) 会員数 *2010年12月末日現在 (カッコ内は前年との増減)
正会員: 31人(1減) 賛助会員: 86人(4増) 5団体(4減)
- (2) 従業員の状況 *2010年12月末日現在
フルタイムスタッフ3名
- (3) 活動の拠点
東京事務所・京都事務所

2、事業実施に関する事項

—コンテンツに制作に係る事業—

(1) 市民の視点や人権・環境を考慮にいたした番組の制作

独自企画番組の制作および配信

【事業内容】

映像作品 (ContAct/Newsclips/Documentary)

サイトのリニューアルにあわせ、インタビュー中心であった「ContAct」のほか、あたりに NewsClip の配信を開始。計42番組(コンタクト15本、ニュースクリップ27本)を配信した。このほか、2009年12月に配信した「宮下公園～TOKYO/SHIBUYA」を3回にわたって上映し、計250人の人が会場に足を運んだ。また番組の DVD を無料で配布。第20回地方の時代映像祭の市民／学生部門で優秀賞を受賞した。

このほか、普天間移転問題がクローズアップされた4月に、フィリピンへの取材を実施。「米軍基地は必要か～フィリピンの選択」を制作し配信。DVD 化し販売したところ、全国で上映会が開催されている。

また、9月に立命館大学津田正夫先生のメディア視察旅行に同行。米国のパブリックアクセスなどの現状を視察し、映像で記録。番組で配信するとともに、DVD 化し販売。メディア系の大学などから注文が相次いでいる。

なお、12月より、YouTube 内の OurPlanetTV チャンネルでは、15分以上の番組を配信可能となった。

【配信実績】

ContAct

- 1月14日 『環境活動家として生きる』 メラニー・マレンさん(環境活動家)
- 1月27日 『21世紀は水戦争の時代！？』サム・ボッヅさん(映画監督)
- 2月10日 『MediACT 追放の裏側』玄武岩さん(北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院准教授)
- 3月3日 『女性たちの外泊～キム・ミレ監督インタビュー～』キム・ミレさん(映画監督)
- 4月14日 『ただいま それぞれの居場所～大宮浩一監督インタビュー～』大宮浩一さん(映画監督)
- 4月30日 『ビルマVJ～命をかけるビデオジャーナリストたち～』ヤン・クログスガードさん×綿井健陽さん
- 5月13日 『米軍基地は必要か～フィリピンの選択～』フィリピンからレポート
- 9月2日 『未来を考えたい人に見てほしい～映画「ANPO」監督インタビュー』リンダ・ホーグランドさん(映画監督)
- 9月22日 『もう一つのなでしこジャパン～「アイ・コンタクト」中村和彦監督語る』中村和彦さん(映画監督)
- 10月5日 『フランスの現代美術家が描く新潟の里山』ジャン＝ミッシェル・アルペローラさん(現代美術家)
- 10月14日 『閉ざされた死刑-法務省と情報公開-』大島千佳、丸山紀一郎(OurPlanet-TV インターン制作)
- 10月30日 『ネット時代の市民チャンネル～米国メディア報告(1)』アメリカからレポート
- 11月17日 『躍進する非営利メディア～米国メディア報告(2)』アメリカからレポート
- 12月9日 『メディア教育の現場から～米国メディア報告(3)』アメリカからレポート
- 12月11日 『上関原発の現場から緊急レポート』ジャーナリスト・東条雅之さんによる電話レポート



NewsClips

- 1月18日 『【わいわいTV】震災を語り継ぐ。「1.17KOBEに灯りをinながた」』
- 1月26日 『映画「インビクタス～負けざる者たち」トークイベント』
- 1月28日 『Save MediACT!』
- 2月22日 『SAVE MEDIACT！インディペンデント映画を考える MEDIACT 連帯イベント』
- 2月23日 『続報～渋谷に野宿者を隔離する「ゲッター」出現』
- 2月25日 『野宿者を締め出して、渋谷区と支援者が交渉』
- 3月12日 『女性専用インターネットカフェ、渋谷に誕生！』
- 3月15日 『宮下公園封鎖が迫る中、始まったアーティスト・イン・レジデンス』
- 3月16日 『宮下公園アーティスト・イン・レジデンス2日目～公園封鎖は見送り』
- 3月20日 『宮下公園問題～ナイキ原宿店前で「NO NIKE ファッションショー」～』
- 3月30日 『宮下公園に green bird が来園』
- 3月31日 『宮下ナイキ公園の反対デモ～180名が参加』
- 4月6日 『沖縄県民らが首相官邸前に座り込み～米軍普天飛行場の県内移設に抗議』
- 4月20日 『記者会見の完全開放を求めてアピール～記者会見』
- 4月24日 『20ヶ国を巡るヒバクシャ証言の旅を描く～エリカ・バニャレロ監督インタビュー』
- 5月15日 『沖縄に基地はいらない！～国会前を取り囲むヒューマンチェーン～』
- 5月29日 『本の街・神保町で出版フリーランス60名がデモ』
- 5月30日 『「沖縄に基地を押しつけるな！」新宿で抗議アクション』
- 6月9日 『映画「ザ・コーヴ」～上映中止反対シンポジウム(前編・後編)』
- 6月10日 『映画「ザ・コーヴ」上映中止抗議イベントに600名が参加』
- 6月21日 『「世界難民の日」に牛久と渋谷で抗議アクション』
- 8月29日 『「沖縄に基地はいらない！」新宿で抗議アクション』
- 9月16日 『渋谷区が宮下公園を封鎖、野宿者を強制排除』
- 9月25日 『宮下公園代執行～マスコミが流した映像は代執行ではなかった！？』
- 10月30日 『自立支援法廃止求め、障がい者らが1万人集会』
- 11月18日 『被爆体験者が43万人署名を提出～認定、手帳の交付を求め』
- 12月7日 『沖縄への基地の押しつけはおしまい！新宿デモに160名が参加』

ラジオ番組(東京ラブレター)

東京近郊のNPO・NGOを紹介する内容で、FM わいわいでの放送と連動し、毎月1本制作。1月から10月までは高木と平野がナビゲーターを担当。11月以降は賛助会員の阿部浩一さんがボランティアとして参加している。

【配信実績】

- 1月 『山谷で野宿をする人たちの生活を守っていく！』 戸叶さん(山谷労働者福祉会館活動委員会)
- 2月 『コミュニティアートで街の人々をつなぐ』 山浦彬仁さん(コミュニティアート・ふなばし)
- 3月 『ミニコミと少流通出版物を扱う書店～模索舎～』 神山進さん(模索舎)
- 4月 『初の試み！神保町で出版フリーランスデモ』 西村仁美さん(フリーランスルポライター)
- 5月 『脱原発プロガー』 ニシオカマユミさん(脱原発プロガー)
- 6月 『カネミ油症の被害者を見つめて』 金子サトシさん(カネミ油症被害者支援センター)
- 7月 『どんな子どもも一緒に育む～まっ子畑保育園～』 大島貴美子さん(まっ子畑保育園)
- 8月 『目の見えない人と一緒に映画を楽しみたい！』 松田高加子さん(シブヤ大学映画音声解説ゼミ)
- 9月 『人とつながる畑づくり～豊かな食と農業を考える～』 小椋優子さん・皆川靖彦さん
- 10月 『銭湯で上映会！どんな思いも表現できる場所を』 川端知江さん(カフェ放送てれれ東京支部)
- 12月 『仲間と一緒に、楽しくラジオをつくる』 アワラジオのみなさん(敬称略)



(2) 人権・環境を考慮に入れた国内外の優れた映像作品の翻訳・紹介

映像コンテンツの翻訳

【事業内容】

2010年12月に完成した「宮下公園～TOKYO/SHIBUYA」を英語化し、YouTubeなどで配信した。この英語版ビデオは、宮下公園の行政代執行翌日のフランス「ルモンド」のスポーツ版(WEB)のトップニュースに掲載され、世界中の人が視聴した。ただ、予定していた海外の映画祭への出品はかなわなかった。

映画紹介

【事業内容】

前年に引き続き、優れた独立系ドキュメンタリー映画をウェブサイトにて紹介するとともに、ポスターの掲示、チラシ配布など宣伝・広報などに協力した。また2010年度はドキュメンタリー作品だけでなく、インディペンデントの劇映画もメールマガジンなどで積極的に紹介していった。

【紹介作品】

『静かなる闘い』『桃色のジャンヌ・ダルク』『ただいま それぞれの居場所』『アヒルの子』『ザ・コープ』『祝の島』『映画で見るベトナム戦争の真実』『ナナイの涙～米兵が残した命の物語～』『ようこそ、アムステルダム国立美術館へ』『ベンダ・ピリリ！～もう一つのキンシャサの奇跡』『アイ・コンタクト もう1つのなでしこジャパン ろう者女子サッカー』『ANPO』『ドアーズ／まぼろしの世界』『死なない子供、荒川修作』『花々の過失』ほか

—市民の情報発信(パブリック・アクセス)に係る事業—

(3) 子ども・市民のための映像制作教育

映像ワークショップ



【事業内容】

年3回にわたる定期的な3ヶ月コースと編集専門の単発ワークショップを開催した。編集ソフトは、アドビプレミアとアップル社のiMovie両方に対応した。東京以外での開催やワークショップ卒業生の制作支援や受け皿作りが課題である。

講師に映画監督・土屋豊氏を迎え、ビデオ制作者中級向けに実施している映像ワークショップ「DIYビデオのアトリエ」の第2期がスタートし、6名受講(うち2名はトーチPJの奨励者)。第1期受講生の金子サトシさん制作のドキュメンタリー「食卓の肖像」が上映ツアーを開始し、「キネマ旬報」に作品批評が掲載された。

ドキュメンタリー制作者より、ファイナルカットプロの使い方講座の要望がありマンツーマンで対応。作品「ココデナイドコカ」は、関西クィア映画祭2010、第6回香川レインボー映画祭、福岡アジア映画祭にて上映された。

【実施期間】

1月～3月 冬期映像制作ワークショップ入門編

4月～6月 春期映像制作ワークショップ入門編

7月～2011年7月 DIYビデオのアトリエ 第2期

8月 夏期映像制作ワークショップ 3日間集中講座

9月～12月 NPO 埼玉ネットの要請により、厚生労働省の基金訓練の映像コースを担当(計4回)

10月～12月 秋期映像制作ワークショップ 入門編

11月 ビデオ編集レベルアップコース 2日間集中講座

トーチプロジェクト



【事業内容】

トーチ・プロジェクト2010企画賞には国内外より計26の企画が寄せられた。そのうち半分の13が映像制作未経験者によって企画されたもの、ほか13が経験者からの応募となった。

この中で、企画賞に「人間やってます！」（社団法人 座 ダルクデイクケアセンター）、「高校生の挑戦」（特定非営利活動法人F-site）、「子どもが見つめるカンボジア」（カンボジア・愛センター）奨励賞は、「A T E S R I N G」（大谷清英さん）が受賞した。

座 ダルクデイクケアセンターの企画は、薬物依存から回復の途にある施設入所者が協力して、映像作品を制作する内容で、9月には入所者全員を対象にしたワークショップを実施。有意義な意見交換ができ、完成が期待される。

(4) 市民が情報発信を行うためのインフラ・機材及び交流の場の提供及び環境づくり

メディアセンター

【事業内容】

ドキュメンタリー作品の上映と、制作者のトークとディスカッションを行う「1COINサロン」を年4回開催した。勝手連的なミニFM局「アワプラジオ」が活発に活動を繰り返している。メディア活動家のグループ「Champon」が会議などで定期的にスペース利用している。

家庭用ビデオカメラが、SD からハイビジョンへ、miniDV テープから HD へと本格的移行し、編集時に発生するビデオファイルの変換方法やビデオ機材購入の相談が相次いだ。老朽化した機材の故障が増えており、修理やメンテナンス作業が増加した。課題は機材の HD 化への対応、機材貸し出し、スペース利用者の増加など。

■1COINサロン実施実績

- 1月22日(金)「宮下公園 TOKYO/SHIBUYA」上映
- 4月9日(金) DIY ビデオのアトリエ完成作品「宗教観」上映
- 4月24日(金) 映像制作ワークショップ完成作品「シャチョー2.0」上映&YouTube 完全攻略講座
- 5月28日(金)「どうするアンボ」「米軍基地は必要か フィリピンの選択」上映&制作者トーク&ディスカッション

アドボカシーおよびキャンペーン活動

【事業内容】

総務省記者会見参加をきっかけに会見開放の運動をスタート。呼びかけ人となり日本プレスセンターで会見を開催。徐々に会見の開放度は広がっているが、引き続き運動が必要な状況である。

また、3月には、一部の政治団体などが映画「ザ・コープ」上映を阻止しようと活動を活発化させたため、映画「靖国」の際に行動したジャーナリストなどが中心に対応。OurPlanetTV も連携し、記者会見や上映イベントのライブ配信に参加。番組も配信した。

このほか、放送通信政策分野では、放送法改正に関する抗議声明等を出し、ブログ等で詳細を報じた。通常国会で廃案となったが、臨時国会で11月に可決。また、「今後の ICT 分野における国民の権利保障の在り方を考えるフォーラム」を傍聴し、随時、情報の提供や委員へのアンケート調査などを行った。12月の報告書の扱いは未だに決まっていない。

市民メディア関係では、市民メディア全国交流集会(むさしのみたかメディアフェス2011)に参加。ブースを出店したほか、白石が最終日のシンポに参加した。

(5) 社会貢献を行う行政・企業・団体への映像・メディア支援

NPOのための広報セミナー



【事業内容】

NPOの事業を効果的に広報するスキルや映像を使った広報の効果について伝えるセミナー5回連続講座を年2回開催した。11月に開催した後期の講座では、遠方からの受講希望によりオンライン受講を開始した。

■NPOのための広報セミナー実施実績

<前期>

- 第1回 2010年6月3日(木) NPOのための広報入門編(14名)
- 第2回 2010年6月10日(木) マスメディア活用法(13名)
- 第3回 2010年6月17日(木) インターネット活用編(14名)
- 第4回 2010年6月24日(木) ビデオ活用編(14名)
- 第5回 2010年7月1日(木) ビデオ実践編(12名)

<後期>

- 第1回 2010年11月4日(木) NPOのための広報入門編(9名)
- 第2回 2010年11月11日(木) マスメディア活用法(13名)
- 第3回 2010年11月18日(木) インターネット活用編(12名)
- 第4回 2010年11月25日(木) ビデオ活用編(11名)
- 第5回 2010年12月2日(木) ビデオ実践編(5名)

講師派遣

【事業内容】

東京ボランティア市民活動センターで毎年開催される「東京ボランティアフォーラム」(2月)にて、映像制作のワークショップの分科会が開かれるなど、新しい動きがあった。東京ボランティアフォーラムでは、動画利用を推進する方向で、2011年度のフォーラムでは、白石が運営委員にも参加している。

秋から冬にかけては、厚生労働省の「基金訓練」に白石が講師として参加。失業中の受講生を対象に、映像ワークショップを展開する機会を得た。しかし、運営主体が映像について知識がなかったことや、受講者の年齢や層がまちまちだったこと、更に、基本的な機材設備環境が整っていなかったため、講座内容の方針が定まらず、不十分な内容となってしまった。

【実施内容】

- 1月 武蔵野美術大学『メディア教育講演』
- 3月 東京都社会福祉協議会『映像ワークショップ講師』
- 3月 津田塾大学『コメンテーター』
- 9月 連合通信社『広報セミナー講師』
- 11月 都留文科大学『メディア教育講演』
- 12月 成蹊大学『メディア教育講演』
- 12月 武蔵野美術大学『メディア教育講演』
- 12月～ NPO 埼玉ネット『地域コーディネーター養成講師』

映像コンテンツなどの受託制作

【事業内容】

前年に引き続き、非営利セクターからの依頼が大半を占めた。中でも、はじめて、全国社会福祉協議会からの DVD 制作を受注。全国の福祉協議会やボランティアセンターに配布する研修用 DVD を制作。新たなつながりは生まれた。

このほか、継続的にビデオ制作を依頼する団体が増えているため、担当者の理解も深まり、非常に制作のしやすい環境となっている。

【実施内容】

◆企業

- 4月 三菱 UFJ 信託銀行 『DVD 作成』
- 8月 メディカ出版 『救急救命士のための小児救急 DVD 制作』
- 10月 合同会社着想社 『国立国際医療研究センター収録』
- 12月 メディカ出版 『助産技術・教材 DVD』『新生児・妊産婦のための教材 DVD 制作』
- 12月 マイクロソフト 『NPO デーメッセージビデオ作成』

◆NPO/NGO

- 2月 NPO 法人野生生物保全論研究会 『活動ビデオ制作』
- 2月 財団法人国際開発救援財団 『動画配信サポート』
- 2月 劇団どりーむふぁくとりーさくら 『ミュージカル撮影 DVD 作成』
- 3月 財団法人国際開発救援財団 『20 周年記念ビデオ制作』
- 3月 NPO 男女平等参画推進みなと 『DV 根絶パネル DVD 制作』
- 3月 お茶ノ水女子大学 『乳がん予防比較 DVD リメイク』
- 3月 WWF ジャパン 『地球温暖化の目撃者ビデオコンテンツ編集』
- 3月 日本 NPO センター 『NPO デー撮影 DVD 作成』
- 4月 PAC ガーディアンズ 『コミュニティフレンドビデオ制作』
- 4月 お茶ノ水女子大学 『研究ビデオコピー』
- 4月 東京外国語大学 『多文化コミュニケーション記録ビデオ』
- 4月 WWF ジャパン 『地球温暖化の目撃者 サンゴ』
- 4月 全国社会福祉協議会 『地域支援マニュアル DVD』
- 6月 CSEC ジャパンフォーラム 『DVD 作成』
- 6月 WWF ジャパン 『地球温暖化の目撃者 サンゴ水中撮影』
- 8月 財団法人国際開発救援財団 『DVD・VHS プレス』
- 9月 FIDR 及びワールドビジョンジャパンを支援する会(愛の泉) 『レセプション上映用ビデオ』
- 11月 NPO 法人野生生物保全論研究会 『環境啓発映像制作』 など

2010 年度 収支報告

2010年1月1日～2010年12月31日

科目	【予算】支出の部	支出の部	【予算】収入の部	収入の部
事業 収入			17,590,000	17,054,370
番組制作情報提供			250,000	314,465
映像作品紹介			50,000	0
メディア教育支援			4,130,000	2,204,220
情報発信支援			360,000	68,143
社会貢献メディア支援			12,800,000	14,467,542
会費収入			1,300,000	990,000
助成金収入			-	880,000
寄付金収入			110,000	266,038
取材謝礼・原稿料収入			-	116,111
雑収入			-	175,628
受取利息収入			-	4,113
収入 計			19,000,000	19,486,260
番組制作情報提供支出	420,000	780,418		
映像作品紹介支出	50,000	33,990		
メディア教育支援支出	750,000	469,276		
メディア環境整備支援支出	70,000	150,605		
社会貢献メディア支援支出	1,500,000	2,399,898		
給与手当(事業)	10,000,000	8,604,108		
事業費 計	12,790,000	12,438,295		
法定福利費	1,120,000	1,326,221		
福利厚生費	10,000	1,935		
通 信 費	480,000	635,078		
荷造 運賃	100,000	159,010		
水道光熱費	400,000	394,976		
旅費交通費	450,000	429,002		
WEB 構築費	500,000	630,000		
会 議 費	20,000	27,914		
事務用消耗品費	100,000	100,940		
備品消耗品費	200,000	349,636		
新聞図書費	100,000	169,772		
印刷 経費	250,000	285,298		
修 繕 費	185,000	82,152		
地代 家賃	2,120,000	2,116,800		
保 険 料	15,000	26,820		
租税 公課	50,000	1,200		
諸 会 費	10,000	3,812		
雑費	-	3,150		
支払手数料	100,000	51,487		
管理費 計	6,210,000	6,795,203		
支出 計	19,000,000	19,233,498		
当期収支差額				252,762

貸借対照表

2010年12月31日現在

科 目	金 額		(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,166,340		
その他流動資産	317,000		
流動資産合計		11,483,340	
2 固定資産			
固定資産合計		1,092,000	
資産合計			12,575,340
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		352,487	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			352,487
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	11,972,521		
当期正味財産増加額		252,762	
正味財産合計			12,225,283
負債及び正味財産合計			12,577,770

財産目録

2010年12月31日現在

科 目	金 額		(単位:円)
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	9,292,131		
現金	180,907		
郵便振替	1,693,302	11,166,340	
その他流動資産	317,000		
流動資産合計		11,483,340	
2 固定資産			
保証金	1,092,000		
固定資産合計		1,092,000	
資産合計			12,575,340
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	60,000		
預り金	292,487		
流動負債合計		352,487	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			352,487
III 正味財産の部			
正味財産合計			12,225,283